

保育園自己評価表

2017年度

園名 まあむキッズ相模大野南口

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>【目標】 異年齢保育の特徴を活かし、いろいろな場面で異年齢児の児童の交流をはかる。 連携園とのつながりを深め、3歳児段階での入園がスムーズにおこなえるよう取り組む 新しく認可保育園としてスタートしたので、これまでの保育を継続しながらも、さらに幅を広げ自覚を持った園運営に取り組む</p> <p>【達成度】 生活発表会の内容や卒園児とお別れ会などで異年齢児の交流を深めた。保育室の使い方についてもパターションを利用しながら工夫した。 給食会や夕涼み会・発表会などの行事に招待し、連携を深めた。職員同士の情報交換にも努めた。 新しい園児、新しい先生が多く入るなか、常に情報を共有するよう努め、きめ細かく対応した。</p>	<p>認定時代からの職員に加え、新入の職員も大勢入社したので、説明会や懇親会をおこない人間関係の構築に努めた。また、職員会議に加え日中の空き時間を利用してミーティングの機会を設けた。 日中のミーティングによって、職員間の連携が向上し、保育中の職員の業務についても効率化できた。 開園時から導入した「保育システム」によって書類作成が効率的におこなえるようになり、その分職員同士の接点が増えた。 建物の構造上、1階と2階に分かれた保育をおこなわざるをえず、この間の連携に多少の戸惑いや課題があったが、異年齢児を交流させることなどで園児の行き来を活発にしたりすることで少しずつうまく流れるようになった。</p>	<p>毎月2回の子育て広場事業により園開放をおこなってきた。毎回15組～20組の方に利用していただき、とても感謝もされ一定の役割を果たせたと思う。2018年度より大幅に子育て広場事業の助成金が削減され、今年度と同様の取り組みがおこなえないことが誠に悔しいかぎりではあるが、限られた予算のなかで地域に貢献できる取り組みを続けていきたいと思う。 相模大野の近隣保育園を中心に、恒例となった「さがみはら保育フェス」を10月7日に開催し、1600名ほどの方々に足を運んでいただいた。保育園の合同説明会も実施し、多くの方に関心を持っていただいた。</p>

この評価のつけ方:

施設長・主任による各職員の聞き取りによる